

おれんじニュース

No275

2013年2月号



12月19日、諫早の里山（小野・金比羅岳）に行った。苔むした石道を用心しながら歩く。

★ 会員一人一人が運営委員です。みんなでオレンジHCの運営に参加しましょう。

★集会・委員会のお知らせ★ 山行の一步は集会参加から				
	2013年2月	2013年3月	時 間	場 所
運営委員会	13日(水)	13日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館
ひまわり集会	1日(金)	1日(金)	13:30~15:30	西諫早公民館
全体集会	27日(水)	27日(水)	19:00~21:30	西諫早公民館





小野の金比羅さんの
ものがたり



二人の男が何やら熱心
にお祈りをしています！
なむなむなむ・・・



2013/2月の山行



部	山行部	技術研修部	ひまわり山行部	自然保護部
月・日	3日(日)	17日(日)	22日(金)	26日(火)
山名 (行事)	雲仙新道	金敷城山(425.5m) 巨石パーク 有田蓮華石山	日岳(258m)	長崎街道 (永昌～大村)
地図	雲仙・島原	広滝・佐賀北部	諫早	
集合場所	西諫早駅 8:00	西諫早駅 8:00	ふれあい会館 9:00	諫早駅裏 9:00
難易度	初級	初級	初級	初級
帰着時間	17:00	17:00	17:00	16:00
歩行時間	5.0h	3.5h	4.0h	5.0h
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	往復歩きです	往(歩き) 復(交通手段自由)
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り
温泉	有り	有り	無し	無し
参加費	3000円	3500円	無し	交通費のみ
申込期限	定員になり次第	定員になり次第	随時	随時
集約	田中	佐原	林	中村
備考	霧氷沢の霧氷を見に行きます	地頭石、屏風岩など神秘的な雰囲気味わう	歩数かせぎます 寒梅の鑑賞	いよいよ街道歩きの始まりです
感想文提出	2/13	2/27	3/2	3/6

※ 県連登山学校 ※

大山 冬山技術講習会 参加者募集

日程 2013年2月8日(夜)～11日

○冬山登山コース

○冬山を楽しむコース

宿泊はビジネスホテル&テント泊も可

帰りに足立美術館見学予定

申込み問い合わせ



1月8日
雲仙霧氷沢の
巨大なつらら
写真提供
田村さん

2013/3月の山行



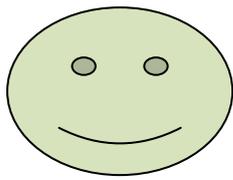
部	山行部	技術研修部	自然保護部	ひまわり山行部	技術研修部
月・日	3日(日)	9日(土)	19日(火)	29日(金)	30(土)/31(日)
山名 (行事)	仰烏帽子山 (1302m)	馬見山 (977.8m)	虚空蔵山 (609m)	とけん山	国東両子山と 天念寺無明の橋
地図	頭地	小石原・甘木	嬉野・彼杵	肥前小浜	香々地
集合場所	諫早駅裏 6:20 西諫早駅 6:30	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10	西諫早駅 8:00	島鉄バス 諫早駅 8:20 口ノ津行	諫早駅裏 7:00 西諫早駅 7:10
難易度	やや健脚	九州自然歩道 歩き	やや冒険あり	ゆっくり歩く	やや冒険あり
帰着時間	19:00	18:00	18:00	17:00	18:00
歩行時間	4.5h	4.5h	4.5h	4h	4h(二日とも)
交通手段	マイクロバス	マイクロバス	マイカー	公共交通機関	マイクロバス
宿泊施設	日帰り	日帰り	日帰り	日帰り	あかね温泉
温泉	?	?		有り	
参加費	5000円	5000円	1500円	交通費のみ	16000円
申込期限	定員なり次第	定員なり次第	定員なり次第	随時参加受付	定員なり次第
集約	田中	佐原	中村	林	佐原
備考	福寿草の見頃 です	神武天皇の馬 が暴れて山中 に逃げたの を見送った	岩屋神社も尋 ねます。親不孝 かどうか見極 める岩あり。	お花見が出来 ると思いま す	天念寺の無明 の橋、めった に渡れない橋
感想文提出	3/13	3/19	3/29	4/9	4/10

技術研修部だより

2月2日(土) セルフレスキュー 西諫早駅前に9:30集合

夏のアルプス計画

8月下旬 しろうまだけ かえらずのけん かしまやり
白馬岳～不帰険～鹿島槍 (申込み川原へ)



新しい仲間の紹介

工藤 学さん

1月からの入会です。

2012年12月/2013月の山行報告



12月16日(日)

秋吉台(龍護峰、若竹山、地獄台)

(参加者) 中須賀、兵庫、福岡、中里、田中(静)、川内、森、山下、中村、中野、
外(外山) (11名)

(行程) 西諫早駅前 6:30～高速金立 7:30～高速八幡 8:20～北九州市高速千代 8:30
～高速門司 9:10～高速美弥 9:50～家族旅行村駐車場 10:20～龍護峰 10:50
～カルスト展望台 11:30(昼食)～若竹山 13:10～長者ヶ森駐車場～地獄台
～駐車場～於福温泉～帰路～諫早着 19:30

(感想)

一週間前から天気予報では“雨”。前日も午後からはかなりひどい雨。でも、当日はみごとに晴れ。晴れ女に晴れ男がそろったようです。6時30分予定どおり西諫早駅前出発。

途中、北九州都市高速千代でギター青年の外山さんが乗車。外山さんは最初に会った時はもっと若い感じがしたが今回は落ち着いた、感じのいい、青年というより壮年で頼もしい。

予定より30分ほど早く家族旅行村駐車場に到着。今日のガイドは外山さんが引き受けてくださる。登りだして5分で

展望台へ到着。

再び急な上り坂

もなく登りだし

て30分ほどで

龍護峰へ到着、次お鉢山へは5分で到着。「アレ

レ。こんなに簡単でいいの?」といいながらみんな

ニコニコ顔。枯れた草原が延々と広がる秋吉台は

広い。鍾乳洞を何度か見たことはあったが、その

このエレベーターでちょっとだけ秋吉台を眺めただ

けだったので、こんなに大きな台地があったとは



龍護峰には30分で到着＼(^o^)/



驚くばかり。小春日和の中、一面のススキと、所どころに顔を出している石灰石を眺めながらの散策はまるで「命の洗濯」のよう。次、バスで長者ヶ森駐車場に移動。

そこから外山さんが地獄台へ登ることを勧められたので途中、若竹山により地獄台へ向かう。

駐車場から“山”と名前がつくのは少しおこがましいような若竹山に10分で到着。オレンジすずめは“若竹山”より“若竹の丘”にしたほうがいいと盛んにご注進。地獄台へ

向かう途中は石灰石が広がりさすがカルスト台地の様相を呈し、その眺めは周りの山々とよく映え勇壮で広大。外山さんお勧めだけはあった。やっと山登りらしい登りにめぐり合えた地獄台だったので次は極楽、於福温泉へ直行。帰りのバスでは専属のギターリストつきの“スナックちず子”が開店し、ギターに合わせての歌あり、トークありのいつもに増しての賑やかさで今日の山行は終了。楽しい、楽しい一日でした。(中野 記)

12月19日(水)

諫早小野金比羅岳(247m)

(参加者) 中村 兵庫 工藤 佐原 林田 田村 山下 金丸 川内 (9名)
 (行程) 諫早駅(島原鉄道) 8:38～小野本町、まるたか 9:05～金比羅岳 10:15～奥の院 10:35
 ～展望台(昼飯)11:25～五郎山公園～登山口 12:35～伊予国浄土寺(49番札所)12:45
 ～宗方神社(48番札所)13:00～八幡神社(46番札所)13:25～天照太神宮(45番札所)
 13:45～バス 14:07～諫早 14:20

(感想)

小野金比羅岳には高校卒業間際にクラスで登ったことがあるが、その後機会がなく一回登ってみたいと思っていた。

登山道は利用する人がなく消滅しているらしいので、車道を歩くことになっていたが、いつもの習性で登山道らしき道に行ってしまう引き返したりした。人家の中のコンクリート道をずっと行くと、時折古い石塔やお地蔵さんがおられ微笑ましい。

途中左に石の鳥居が見え、右に参道が見えてきた。石の鳥居の中の説明文によると



宗方神社の巨大杉の前で

ここは松尾社で酒造りに携わった人々が祀ったものと思われる。さらに敷地の左には常夜灯があり橋湾の漁師が夜間この火を目当てにして魚をしたと言われている。参道は利用がないのか荒れているが味わいのある石積があり、自然林で鬱蒼とした雰囲気は「神域」を感じさせる。

この辺りは滑りやすいので注意して歩いた。

そこからしばらく歩き左側の石門を通ると、金比羅山の山頂一帯で諫早領主の信仰が厚かった曹洞宗「性圓寺」跡である。さらに行くのと所狭しと石像、お地蔵さん、狛犬などあり、精巧なカニの石像には驚いた。また、弘法像と 50 番札所もあった。奥の院の先の三角点がある「展望台」からの眺望は素晴らしいものでした。この頃は曇っていた天気も良くなり日が差ししてきた。時間的には早かったが、素晴らしい景色を眺めながら昼飯を頂いた。

下山時に途中「五郎山公園」に立ち寄ったが、ここからの眺望も素晴らしく遠く御館山はもちろんその展望台も見渡せた。また、御館山と違いサザンカが大樹に赤や白の花を美しく咲かせていた。

時間があつたのでこの近くの八十八カ所めぐりをする事になり、まず伊予国浄土寺(49 番札所)に行った。ここで人形の型をした「人形の実」を私は初めて見た。熟すると食べられるとのこと。皆さんの物知りに感心した。次に宗方神社(48 番札所)、八幡神社(46 番札所)をめぐり、最後に民家の前の天照太神宮(45 番札所)に行った。札所では皆で「般若心経」を唱えたのですが段々上手になっていくのがわかった。

帰りはバスを利用した。このような山行も面白いと思いました。皆様お疲れ様でした。

(川内 記)

2013 年 1 月 1 日

初日の出参拝山行 in 御館山

(参加者) 川原、兵庫、福岡、松岡、中村、佐原、本田、田中(静)、山下、外(董さん)



7時に御館山の展望所に各々集まる。

お互いに挨拶を交わした後、福岡会長の「乾杯！」の発声のあと酒宴となる。

今日は朝から小雪まじりのあいにくの天気で初日の出は拝めずじまい。でも、オレンジのメンバーの出席率は例年通り。(笑い)田中さんのお節や、兵庫さんの奥様手作りの角煮は本当に美味しかった。

そして本田さんが持って来て下さった農家の自家製にごり酒は初めて頂いた。

きりっとして甘いのに結構アルコール

度が効いてる感じで本当に美味しかった。御館山の帰りの石段の下りが少し心配された。

久保夫妻が途中いつものように参拝に来られたが「今日は後で運転しないといけない」と、酒

宴には加わらずいかにも残念そうな表情であった。

今年初めてこの初もうでに参加された方も打ち解けて仲間が増えたのが嬉しかった。

川原さんが連れて来られてた中国の男性には日本のお正月風景はどのように見えたのだろうか？ オレンジの山行が今年一年無事に行えます様にと祈りながら 8 時半にお開きにして帰宅した。 (山下 記)

1月13日(日)

八郎岳(590m)・熊ヶ峰(569m)

(参加者) 川原、福岡、山下、田中(静)、鎗水、兵庫、円能寺、山口、下釜、高森、中村、中野、川内、山本、林、佐原、田村、本田、工藤、中須賀、國分、森、林田、外(柳迫)、ニュース会員(近藤) (25名)

(行程) 西諫早駅 8:10～平山バス停登山口 9:30～八郎岳 11:00～分岐 11:35(昼食)12:10～熊ヶ峰分岐 13:15～八郎岳登山口 13:30～烏帽子岩分岐 14:00～烏帽子岩～森林体験館 15:30ーバス乗車帰路へ

(感想)

八郎岳は長崎半島の最高峰である。

久しぶりに参加者も多くにぎやかで嬉しい。朝からどんよりと曇っていて今日一日降らないことを祈りつつ平山バス停で下車した。近くの駐車場をおかりして準備運動をすませて出発。墓地のそばを通り抜けると雑木林のゆるやかな登山道で歩きやすい。



今日も長崎の近藤さんが道案内をしてくださり心強い。右手に見えるのが松尾岳、奥に見えるのが佐敷岳と教えて下さった。時々休憩をしながら登る。杉の木が多いようだ。小雨がポツポツと降ってきたので雨具を着用する。

だんだん傾斜も増してきた。やっと明るい広場に出た。

八郎岳頂上で、さえぎるものはなく 360 度の展望である。あいにくの天候で遠望は今一である。

記念写真を撮り登って来た道とは反対側を下る。分岐のそばの木の下で昼食を頂いた後小八郎岳は省略して熊ヶ峰へ。防火帯を下り、左手、熊ヶ峰に寄ってみたが展望はきかない。ここでも記念写真を撮って分岐にもどる。また、防火帯の岩肌のゴツゴツした坂をひたすら下る。

やがて八郎岳登山口標識のある車道に出た。市民の森へ下る。分岐から目の前の急坂を登り

烏帽子岩へ。宮摺町などの展望が良い。ここから唐八景方面へ尾根伝いのゆるやかな山道で気持ち良い。一休みしていると雨も本降りになってきた。「林間キャンプ場」や「昆虫の森」もある。

濃いピンクの山茶花もまっさかりで大きな木がなんぼんかあり、花の少ないこの季節、心なごませてくれた。森林体験館のそばにバスが待っていたので乗り帰路へ。

久々に長い道程を歩いたが怪我もなく無事歩き通せて良い思い出が出来ました。

案内して下さった近藤さんや皆様に感謝です。お疲れ様でした。(林田 記)

初登山に参加して

登山といえば、中学生の遠足で故郷の大船山へミヤマキリシマを愛でに行った以来であり、「あれから 50 年」・・・始め少々の不安と緊張があった。

当日は予定人員を上回り、マイクロバスは隣人と肩を触れ合う満席の状態、久々に女性との会話に？気分も高揚なごやかなムードのなか目的地にむかい、緊張も徐々に解けた。

平山登山口からの八郎岳登山道わきには、根元が一本で手のような 5 本の幹が出ている樹木や 2 種類の幹が合体した木、無数不気味に枝が湾曲している木々など・・・自然の神秘さと驚異をあらためて感じた。

登山道途中の「まだまだ頂上まで何 Km」・「もう少し」などの案内板を“うらめしげ”にみながら登頂したが、あいにくの小雨で霧が立ちこめ視界がきかなくチョットがっかり、しかし苦勞して登った喜びと達成感、またのちに雨の中“ワイワイ・ガヤガヤ”みんなで食べた昼食は格別に旨かった。

午後は先輩の足元を見ながら黙々と登りまた下り・また登り・・・標高 500m 前後の尾根づたいを風に倒されたであろう樹木の根っこを見てその迫力に圧倒されながら、ひたすら静寂の中を歩いた。

途中、両足のモモの痛みとヒザが笑い少し辛い時もあったけど、木々の快い微香と時折聞こえる小鳥のさえずりに癒された。またそれ以上に先輩たちとの楽しい談笑と交流時間は、心身ともにリラックスし、帰路時にはそれまでの苦勞も忘れるほどに快い疲れとなっていた。

自然体験館へ下山途中、深緑の中、雨に濡れたサザンカの鮮やかな濃桃色が、一段とその美しさを際立たせ有終の美を飾っているように思え感動した。

今回の登山は終始悪天候で全行程消化はできなくて、また各山々からの期待した眺望もきかず、多少残念な感もあったが、先輩たちの健脚ぶり(特に女性)と頑張り、およびクラブのコミュニケーションのよさに感心した。

僕もなんとか無事縦走でき安堵しているが、過信することなく今後も鍛錬して、諸先輩に一步でも近づけるように頑張りたい。

(工藤 学 記)



御館山と私

今朝も御館山へ向かうと樹木と小鳥のさえずりが身体を和らげる。

いつもこの早朝ウォーキング以外はほとんど家の中で過ごす。台所でゴソゴソ、部屋でゴソゴソ。身体を動かす事はほとんどない。

朝のウォーキングは貴重な時である。身体を目覚めさせる唯一のチャンスである。

オレンジに入会させて頂いたおかげでこのウォーキングのきっかけを得る事が出来た。

三十数年前、「ママ友」と子ども連れでここ御館山の展望台にも足を運んでいた。そんな記憶が蘇ってくる。

朝早く御館山に行くので、帰宅してもまだまだ時間がたっぷりある。台所仕事、縫物などの仕事をして過ごす朝から新鮮な空気をたっぷり吸ったお陰で身体がスムーズに動く。



展望台からの日の出雲仙方面

まさしく「一石二鳥」である。

肉体的、精神的にもいい結果を生みそうな気がする。

オレンジの会員の方、見知らぬ方との挨拶も活力になっている。

焦らずマイペースで「継続は力なり」をモットーに今日一日を転ぶ事なく過ごしたい。

(田村満子記写真も)

♪♪♪ Just Walking In The Rain ♪♪♪ 八郎岳&熊ヶ峰&烏帽子岩





秋吉台にいきました。
冬に行っても秋吉台



ここが地獄台・・・
でもでもラクチン
極楽 極楽 極楽台





カゴノキ



秋吉台、最後の行程は長者が森。
源平合戦に敗れた武将が住みついて後に一族が長者になったといういわれがかいてあった。
写真提供中里氏

おれんじニュースNo275	
発行元	オレンジハイキングクラブ
発行責任者	福岡正廣
編集責任者 及び 原稿送付先	山下ちず子
発行年月日	2013. 1. 23
財政担当	
郵便振替口座	
ホームページ	http://orangehikingclub.web.fc2.com/

関東の方では大雪のニュースが聞かれますがこちらはまだ雪が降らず緑の多い写真で今月号を作りました。来月は難所ヶ滝の氷曝で表紙を飾りたいと今から張り切っています。今月号への写真や原稿をお寄せ頂いてありがとうございました。
◁m()m▷山下ちず子